

すずかけ

SUZUKAKE

敦賀市立看護大学ニュース

TSURUGA Nursing University News



救急・災害看護研究センター シミュレーションラボリニューアル

救急・災害看護研究センターは、災害時等に地域住民への活動支援が行える実践力のある看護職者を育成するため、シミュレーションラボをリニューアルしました。

令和6年7月3日(水)にはキックオフイベントを開催し、医療機関等関係者、学生、教職員、一般市民等あわせて76名の参加がありました。

プロモーション動画が
完成しました！
ぜひご覧下さい！



<https://youtu.be/9AjgeHDz6ZM>



救急・災害看護研究センターでは、令和5～6年度にかけて施設の移設・整備およびシミュレーション教育機器の拡充を行いました。これにより、災害時などに備えた救急・災害関連の教育活動の拠点として、より充実した機能を持つことができるようになりました。

リニューアルにより、学生はリアルな状況のシミュレーションが可能になり、救急・災害対応のスキルを実践的に学べるようになりました。また、シミュレーションを記録して評価や研究に活用する環境も整っています。さらに、地域の看護職をはじめとする医療職や消防職、警察職などのスキルアップにも活用できる施設としての機能拡充を検討しています。



《 救急・災害看護研究センターではこのような事業を想定しています 》

原子力災害に関する 放射線防護教育

- 放射線測定、防護方法 等

シミュレーション教育

- ICU、救急場面等の実践教育とデブリーフィング
- BLS、災害時(原子力災害を含む)のトリアージ等

現任者教育

- 医療従事者(卒業生含)向け
コースの開催 (ICLS) 等

教育効果の検証

- 行動観察(録画、測定) 等

《 導入機器の一部を紹介します 》

救急医療トレーニングの高機能シミュレーターです。実践的なALS(二次救命処置)手技、実際に起こりうる困難な気道管理シナリオなど、様々なシミュレーション設定が可能です。より実践的なシミュレーション教育を行うことにより、医療従事者としての能力を高めます。

SimMan ALS (レールダル)



学生の声



シミュレーション人形は、呼吸音や心電図波形、瞳孔径の大きさなどを自分で設定できます。実践に即したアセスメントを行えるのでとても勉強になります！

人形の心音や呼吸音、血圧などを設定し、実際に聴いたり測ったりすることができるので、様々な患者を想定したアセスメントができます！



看護大学健康講座



今年度の看護大学健康講座は「まちの保健室～生活と健康～」をテーマに、年4回の講座を計画・実施しています。内容はミニ講義や健康相談、地域・在宅サポート隊[※]の学生による健康チェック(血圧・咀嚼力等)を行っています。

第2・3回は地域に出向いて開催する出張型の健康講座を実施しました。特に、令和6年10月27日(日)に、おお原の里で開催された健康講座には多くの地域住民の方々にご参加いただきました。

※地域・在宅サポート隊とは、地域を理解し、住民と一緒に学ぶ場を作るため、主体的に地域・在宅ケア研究センターの事業への関わりを持つ学生で、令和6年度は20名の学生が活動しています。
地域・在宅サポート隊の活動には、未来協働プラットフォームふくい推進事業(大学等魅力アップ支援分)補助金を活用しています。



地域・在宅サポート隊が企画した「コスモス押し花しおり作り体験」の様子です。

令和6年度看護大学健康講座

	日付	場所	テーマ	ミニ講義	講師
済	第1回 7月26日(金)	本学	熱中症について考える	身近に潜む熱中症のリスクと予防	新田教授
済	第2回 10月27日(日)	おお原の里	花と健康について考える	五感で楽しむ健康づくり	鈴木講師
済	第3回 12月1日(日)	松原公民館	笑いと健康について考える	“笑い”から健康づくりを始めてみませんか?	鈴木講師
	第4回 3月5日(水)	本学	睡眠と健康について考える	ぐっすり眠ろう!～快眠のためのポイント～	林助教

第4回については、ホームページ・広報つるが等でお知らせします。

第7回研究報告会

令和6年11月5日(火)に第7回敦賀市立看護大学研究報告会を開催しました。

今年度は、第1部を活動報告、第2部を研究報告として開催しました。第1部には病院・施設および訪問看護ステーションから5演題、本学から1演題の報告があり、第2部には病院から2演題、本学から3演題の報告がありました。参加者は研究報告者、学生、教職員、一般市民等あわせて144名でした。また、今年度より本学卒業生の卒業研究(一部)をポスター発表しました。

参加者からは「様々な病院・施設で行われている取り組みについて聞く機会が得られ、とても有意義な時間を過ごすことができた」「テーマの決め方や資料の作り方など4年次の卒業研究に生かせる学びを得ることができた」といった感想がよせられました。今後も引き続き、研究報告会を通して多職種が交流を深めると共に、地域への貢献につなげていきたいと思っております。



看護研究研修会

令和6年4月20日(土)、5月25日(土)の2日間、主に嶺南地域の医療機関等に勤務される看護職者を対象に看護研究研修会を開催し、延べ22名にご参加いただきました。

今年度の看護研究研修会は、福井県看護協会との共催で、看護研究を基礎から学ぶ『基礎編』と、研究方法の基本を学び、看護研究に取り組む『実践編』を開催しました。





海外語学研修を再開しました!



令和6年3月2日～23日までの3週間、オーストラリア、シドニーの北約200kmにある港湾都市ニューカッスルのTAFE NSWキャンパス内の語学センターにおいて語学研修を実施し、看護学部1～4年生の15名が参加しました。

ホームステイをしながら、語学センターで集中研修に参加し、さらに週末の金曜日には看護英語に特化した授業と学内の看護・老人福祉施設の見学なども行いました。



3年 柴田 希美さん

この研修の機会を通して、自分から出逢いに行き、行動することの大切さを知りました。言語と文化が違う家族と共に生活を送ることに怖さと不安でいっぱいでしたが、3週間後には離れたくないくらいに楽しい思い出と刺激的な経験を沢山させていただきました。離れる時に「いつでも帰ってきてね、オーストラリアの家族だから」という言葉を下さったことは今でも鮮明に覚えています。今でもオーストラリアの家族と連絡をとりますし、友人と沢山思い出話をしています。言語も文化も違いますが、心は通じ合うということ学びました。必ずまた行きます!

3年 岡山 未来さん

私が海外語学研修に参加したのは、海外に行きたい、異文化に触れてみたいと思ったことがきっかけでした。はじめは、慣れない環境かつ日本語が通じない生活なので不安や緊張でいっぱいでした。しかし、段々英語が聞き取れるようになり、現地の人たちの関わりを通して、拙いながらも自身の思いを英語で伝えられるようになりもっと話したい、色んなことを知りたいという気持ちに変わっていきました。短い期間でしたが実際に現地に行ったからこそ五感でたくさんの経験を得られ、自身の成長に繋がったなと感じています。

4年 山本 菜央さん

初めての海外だったので、初めはわくわくとドキドキと色んな感情がありました。英語は好きだけど話す事は苦手な、現地の人たちとコミュニケーションを取れるかが不安でしたが、3週間のオーストラリアでの生活を通して、コミュニケーション力がかなり向上したと感じています。ホストマザーをはじめ、現地の方はとても明るくフレンドリーで空気が、人間性が日本とは異なり魅力的でした。3週間というわずかな期間でしたが、そこから得られた学びはそれ以上のものだったと思います。ここでの学びや出会いを大切に、今後も色々なことに挑戦していきたいです。



令和7年度はカナダ・バンクーバーで2週間にわたり、ホームステイをしながら語学研修や看護研修を行う予定です。

大学院看護学研究科



大学の大学院修士課程で看護管理に関連する学問領域を学修し、修士号の学位を取得することで、日本看護協会の認定看護管理者の審査を受けることができます。

【令和5年度修士生の研究テーマ】

- 救急・災害看護学分野
 - ・救命救急センターに配置転換した看護師の経験の蓄積に関する研究
 - ・COVID-19の面会禁止措置下で看護師がICUで実践した患者と家族の面会に関する研究 一看護師は患者と家族のニーズに対して面会のケアをどのような考えで行っていたか
- 地域・在宅看護学分野
 - ・外来看護師が語る外来看護の実態とあるべき姿 一退院後の患者への看護体験に基づいて
 - ・病棟に勤務する看護師長のキーコンピテンシーの獲得状況と卒後2～3年目看護師の精神的エンパワメントとの関係
- 母子看護学分野
 - ・産科混合病棟における助産師と看護師の相互作用と病棟機能に関する研究
 - ・母親の言動からみた「気がかり」に関する研究

助産学専攻科



令和5年度修士生の助産師国家試験合格率は、100%を達成しました。県内外の病院で活躍しています!

オープンキャンパス

今年度のオープンキャンパスは、全国の高校生・受験生・保護者等を対象に令和6年7月28日(日)と9月28日(土)の2回にわたり開催し、延べ283名(高校生等170名、保護者113名)のご参加をいただきました。

当日は、大学紹介やカリキュラム紹介から始まり、模擬講義、本学の特色でもある応用3分野を含む看護学演習体験、進学相談コーナー、医療機関紹介や本学学生による学生生活コーナー、キャンパスツアーなどのプログラムを実施しました。参加者からは「講義や体験を通して、よりこの大学を受験したいと思った」「先生と学生さんとの距離が思ったより近くて、やわらかい感じの大学なんだと思いました」などの感想が聞かれ、本学の特色や魅力を感じていただけたようでした。



吹奏楽サークルによるオープニング



戸田恵さんによるピアノコンサート



敦賀市内フラダンスサークル「Aloha Lokahi」



人体脱出ゲーム



看護体験コーナー



海凜祭

第9回海凜祭が「看天喜地」というテーマで令和6年11月2日(土)に開催されました。

吹奏楽サークルのオープニングで始まり、ピアノコンサートやフラダンス発表などのステージ企画や学生による人体脱出ゲームやミニ縁日など、地域の方々とのつながりを深めていけるような企画が用意され、多くの来場者楽しんでいただきました。

また、救急・災害看護研究センターでは避難所に関する展示や看護実習室では看護体験コーナーを行うなど、本学ならではの企画も実施し、多くの方に興味を持ってご参加いただきました。

正面玄関では、敦賀真鯛のソースかつ丼や敦賀ふぐのフグ汁など敦賀の特産品をはじめ、地元野菜の販売や焼き鳥、スイーツなどのキッチンカーが並び、大いに賑わっていました。

ご来場いただきました地域の皆様、ありがとうございました。

つるが発 次世代看護あり方研究会を創設しました

「つるが発 次世代看護あり方研究会」は、大学と地域がともに育ち、人々の健康と福祉の向上に資するため、次世代看護の役割を議論し、教育研究と地域貢献活動の更なる発展に繋げる機会とすべく、内布敦子学長が発起人となり、令和6年4月に立ち上げた研究会です。

本学看護系教員を中心メンバーとして、地元創生看護や看護ケアの本質について学びを深め、併せて地域と協働した活動を積極的に展開したいと考えています。



本研究会の創設にあたり、活動への指針を得るため、令和6年6月20日(木)に元国際看護師協会会長 南 裕子先生による講演会を開催しました。

「地元創生看護という考え方」と題してご講演いただき、本学の学生・教職員をはじめ、市内・県内外から300名を超える教育関係者、医療関係者、行政職員などの皆様にご参加いただきました。

敦賀市大学研究等支援事業費補助金は、令和4～6年度にわたり大学の保有する知見及び技術をもとにした研究・地域連携事業を支援し、その取組を促進することで、研究の実用化や地域課題の解決に向けた取組を促進するとともに、研究等を通じた人材の育成を図るために実施されています。

敦賀市大学研究等支援事業費補助金に採択された事業一覧を紹介します。

敦賀市大学研究等支援事業費補助金 採択課題一覧

年度	研究者	研究課題
2022	笹山真由美	病棟に勤務する看護師長のキーコンピテンシーの獲得状況と卒後2～3年目看護師の精神的エンパワメントとの関係
	河合 正成	災害時避難行動要支援者の健康を守る水害用アクションプランの開発 —地域特性と災害時避難行動要支援者の課題を踏まえて—
	八原 知美	COVID-19の面会禁止措置下で看護師がICUで実践した患者と家族の面会に関する研究
	北村 隆子	敦賀市における地域支えあい活動の評価 —「通いの場・集いの場」に参加する高齢者の生活機能評価を通して—
	林 愛乃	要介護高齢者の質の高い睡眠を目指した排尿援助の検討 —膀胱用超音波画像診断装置による膀胱内尿量の可視化—
2023	北村 隆子	敦賀市における地域支えあい活動の評価 —「通いの場・集いの場」に参加する高齢者の生活機能評価を通して—
	河合 正成	災害時避難行動要支援者の健康を守る水害用アクションプランの開発 —地域特性と災害時避難行動要支援者の課題を踏まえて—
2024	北村 隆子	敦賀市における地域支えあい活動の評価 —「通いの場・集いの場」に参加する高齢者の生活機能の変化—
	野沢 和也	災害時避難行動要支援者の健康を守る水害用アクションプランの開発 —地域特性と災害時避難行動要支援者の課題を踏まえて—

今年度、本学教員が研究代表者として取り組んでいる課題を紹介します。この他にも、研究分担者として行っている課題が11件、企業等との共同研究として行っている課題が2件あります。

2024年度科学研究費助成事業 採択課題一覧

基盤研究 (C)

研究代表者	研究期間	研究課題名
林 祐一	2020-2024	電子カルテシステムによる院内転倒の予測自動化に関する研究
佐々木綾子	2021-2024	コロナ時代の産婦と夫の安全・満足な分娩体験につながるweb夫立ち合い分娩の開発
石橋佐枝子	2021-2024	青年期の外在化障害に対する診断アセスメントと支援に関する研究
伊部 亜希	2022-2025	臥床高齢者における交感神経活動と褥瘡好発部位の血流との関係
伊東 由康	2022-2025	終末期患者家族の集中治療後症候群 (PICS-F) リスクアセスメントツールの開発
道重 文子	2023-2025	看護学士課程における臨床判断能力を高める統合実習モデルの開発
萬代 望	2023-2025	特定健診・保健指導の医療費適正化効果の分析と効果的な体制の検討
小山 珠美	2023-2025	原子力災害医療を学ぶためのAR/VRシミュレーション教育ツールの開発
佐々木綾子	2024-2026	アフターコロナ時代の父親役割移行を促す夫立ち合い分娩支援デジタルツールの効果検証
瀧園 環	2024-2026	非血縁乳児への親愛感情を高めるプログラムの開発と効果評価—大学生を対象として
池原 弘展	2024-2027	原子力災害を含めた災害看護教育プログラムの開発

着任教員の挨拶

教授 井上聡子 (精神看護学)



私は20年にわたり看護教育に携わり、精神看護学を専門としてきました。精神看護学を学ぶことはとても楽しくまた奥深いものと思っています。看護の目的は常に人々のQOLの向上にあり、授業の中でも人々のストレングスや自己決定能力を支えられるような思考を育めるよう取り組んでいます。また、統合失調症者の地域生活支援に関する研究も行っています。皆さん一人ひとりと共に成長していきたいと思っています。

教授 岡本禎晃 (専門基礎)



薬理学が薬の名前と作用を暗記する科目ではなく、実際の患者さんに応用できるようになればと思います。臨床の専門分野は緩和ケアで、緩和薬物療法認定薬剤師として仕事をしてきました。研究は薬のことだけでなく、遺族ケアや予後予測、補完代替医療など幅広く行っています。

教授 佐々木綾子 (母性看護学)



助産師としての実務・教育・研究経験を活かし、母性看護学を担当しております。母性看護学では「妊娠・出産・育児期」だけでなく、女性と子ども・その家族が「一生」を通し、健康に過ごすための看護について学びます。そして、現代社会ならではの「性と生殖に関連した様々な課題」の現状や解決策についても、学生や地域の皆様と共に考えたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

教授 新田紀枝 (在宅看護学)



病気や障害をもつ療養者とその家族が、住み慣れた地域社会の中で生活者として生活できる看護のあり方を大切にして、学部、修士課程とも在宅看護学領域の科目を担当しています。訪問看護、在宅ケアに関する研究、家族看護に関する研究を行っています。

准教授 伊東由康 (成人看護学)



周手術期看護学・周手術期看護実習など、主に急性期領域の科目と実習を担当させていただきます。修士課程では救急・災害看護学分野を担当させていただきます。救命救急センターの看護師として臨床経験を積み、臨床での経験のなかで救急・集中治療領域で亡くなる患者さんのご家族への支援に関心をもつようになり、死別と悲嘆をテーマに研究に取り組んでいます。

講師 川口桂嗣 (地域看護学)



看護師や保健師としての実務経験を活かし、現在は大学教員として活動しております。地域住民の「生活と健康」に焦点を当て、共に考え、学び合う授業や研究を進めたいと考えています。研究室はいつでも、どなたでも大歓迎です。どうぞお気軽にお越しください。

助教 池原知美 (小児看護学)



小児看護の分野を担当しております池原知美です。子どもの身体をみたり、生活を考えながら、子どもに必要なケアを考えていきます。少子化の時代だからこそ、子どもの権利や子どもの考えていることを大切にしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

助手 野里侑加 (在宅看護学)

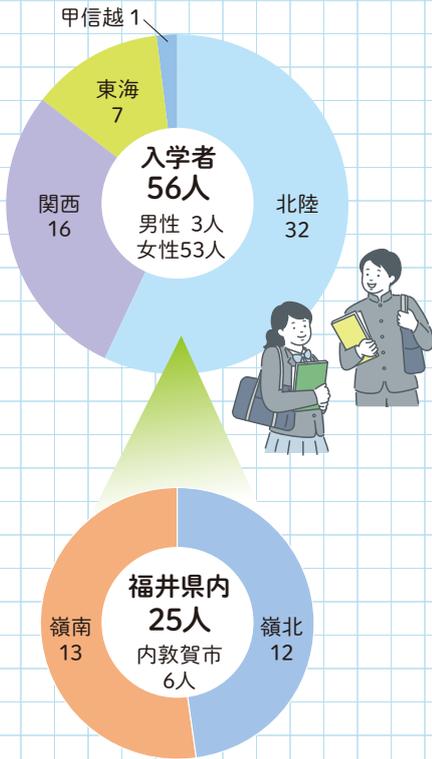


地域包括支援センターでの経験を経て、今年の10月に着任いたしました。主に在宅看護学領域の演習・実習を担当しています。便利家電が在宅療養者の生活に及ぼす影響や、フィンランドをはじめとした北欧諸国の社会福祉制度に大変興味があります。不慣れなところもあるかと思いますが、学生の皆さんと一緒に勉強していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

入試関連情報

令和6年度入学生の地域別内訳

※出身校の住所による



卒業生の進路状況

就職先

《看護師》

【敦賀市内】市立敦賀病院／国立病院機構 敦賀医療センター
 【福井県内】福井大学医学部附属病院／福井県立病院／福井県済生会病院／福井赤十字病院／(医)林病院／杉田玄白記念公立小浜病院／JCHO若狭高浜病院
 【県外】宮城県立病院機構 宮城県立がんセンター／(医)協友会 柏厚生総合病院／(公財)榊原記念財団附属 榊原記念病院／富山県済生会高岡病院／金沢市立病院／金沢医科大学病院／(医)健和会 健和会病院／信州大学医学部附属病院／岐阜大学医学部附属病院／岐阜県厚生農業協同組合連合会 岐阜・西濃医療センター 西濃厚生病院／静岡赤十字病院／愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院／名古屋市立大学医学部附属 東部医療センター／藤田医科大学 岡崎医療センター／(医)杏嶺会 一宮西病院／(国研)国立長寿医療研究センター／三重県厚生農業協同組合連合会／大津赤十字病院／滋賀医科大学医学部附属病院／京都第一赤十字病院／(医)洛和会ヘルスケアシステム／大阪府済生会吹田病院／(医)東峰会 関西青少年サナトリウム／兵庫県立はりま姫路総合医療センター

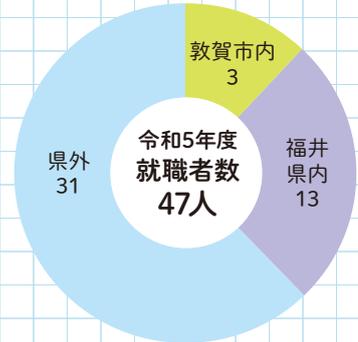
《保健師》

福井県／伊那市／吹田市

進学先

- ・敦賀市立看護大学 大学院 看護学研究科
- ・敦賀市立看護大学 助産学専攻科
- ・佐久大学 助産学専攻科
- ・山形大学 養護教諭特別別科

令和5年度看護師・保健師国家試験の新卒者(3月卒業生)合格率は**100%**を達成しました。



就職勤務地内訳



図書館だより

敦賀市立看護大学附属図書館は学外の方もご利用いただけます。

- 利用できる方**
- ◎敦賀市に在住又は勤務する18歳以上の方
 - ◎その他附属図書館長が適当と認める方

- 開館日時**
- 通常時／9:00～19:00
 休館日／土曜日および日曜日・国民の祝日

※詳細は本学のホームページをご確認ください。
 ※開館時間は変更となる場合があります。



- 貸出**
- ◎図書の館外貸出が可能です。ただし、雑誌・新聞・視聴覚資料・禁帯出資料を除きます。
 - ◎館外貸出には、「学外利用者証」が必要です。
 - ◎貸出冊数：5冊以内 ◎貸出期限：2週間以内

※「学外利用者証」の発行を希望される方は、現住所の分かる身分証明書(運転免許証・保険証・職員証)をご持参の上、カウンターへ申し出てください。

- 返却**
- ◎図書は、必ず返却期限内にカウンターへご返却ください。
 - ◎1冊でも返却期限を過ぎた図書があると、新たに図書を借りることができません。



学生食堂のご案内

敦賀市立看護大学の学生食堂は一般の方もご利用いただけます。リーズナブルなメニューが揃っていますので、近くにお立ち寄りの際は、ぜひご利用ください。

営業時間

平日 11:30～14:00
 (13:20 ラストオーダー)

※営業時間は令和6年度のもので、
 ※夏季・年末・年度末は長期休業する場合があります。
 ※営業時間等は変更となる場合があります。
 本学ホームページをご確認ください。



敦賀市立看護大学ジャーナル

敦賀市立看護大学では、研究の成果をホームページ上のジャーナルで公表しています。医療・看護に関心のある方々にお役に立てて頂ければ幸いです。

科目等履修生・聴講生の募集

敦賀市立看護大学では、学生とともに学べる科目等履修生・聴講生を募集しています。詳細は本学ホームページの「地域・一般の方へ」のページをご覧ください。



編集後記

開学より10周年を迎えたことを機に紙面をリニューアルしました。末永くご覧いただけますと幸いです。

すずかけvol.11は、今年度シミュレーションセンターとしてリニューアルした救急・災害看護研究センターと、健康講座や研究報告会など地域とつながりを持った活動を行っている地域・在宅ケア研究センターのニュースを中心にお届けいたしました。また、今年度から発足した「つるが発次世代看護あり方研究会」や、教員の研究活動についても紹介いたしました。教育研究活動を通して地域に貢献できる大学であり続けたいと考えております。

今後ともご協力ご支援の程宜しくお願い申し上げます。

(広報委員会)



敦賀市立看護大学



福井県敦賀市木崎78号2番地の1
 URL <https://tsuruga-nu.ac.jp>
 TEL 0770-20-5500
 FAX 0770-20-5548

2024年12月27日発行
 発行／公立大学法人 敦賀市立看護大学